

清水町議会
総務文教常任委員会所管事務調査
説明資料

平成28年2月10日

清水町教育委員会学校教育課

教育委員会からの説明資料

- 1 特色ある町の取り組み(学校に関する事業等を中心に)
(添付資料)
 - ・ ちよつといい話 1月号
 - ・ 教育のデザイン「企画編」「実践編」
- 2 学力向上支援プランについて

各学校からの説明(資料は各学校にて準備済み)

- 1 学校経営の方針
- 2 学力調査の結果と改善についての保護者への周知状況

特色ある町の取り組み（学校に関わる事業等を中心に）

1 しみずの教育の四季

清水町の教育理念「心響」～打てば響く 心に響く～を基軸として、「心を通わせ、互いに響き合う感性豊かな教育の推進」を目指し、実践指標“しみず「教育の四季」”を平成18年4月に宣言してから10年になりました。

以来、家庭・学校・地域が連携して、「あいさつ、返事、後片付け」「早寝、早起き、朝ごはん」など、どの家庭でもごく普通に実践されなければならない基本的な生活習慣・規範意識に関わる項目を、12のマトリックスに配置し、家庭と学校、地域がきめ細かく連携して、感性にあふれ、表情豊かな子供を育てようと、取組を展開しています。

4月に推進協議会を開催し、以下の取り組みを行っています。

- ① リーフレットを町内小中学校及び保育所・幼稚園を通じて家庭に配布。
- ② 中高連携としてのサイエンス・サマースクールの開催。
- ③ 「子どもフォーラム」を開催し、各学校の児童会・生徒会での取組の発表と意見交流を実施。
- ④ 町内各保育所の保護者参観日に「教育の四季」の趣旨や取組を説明。
- ⑤ 町内保育所、幼稚園、小中高から「ちょっといい話」を集約し、幼保小中高の取組を積極的に発信。

なお、本年度は、しみず「教育の四季」宣言10年記念事業として「町ぐるみの教育推進セミナー」を開催しました。



【「子どもフォーラム」での取組発表】

2 少人数学級について

平成15年より構造改革特区を活用し小学校低学年において実施。

学習集団と生活集団を一体化により、基礎・基本を重視した確かな学力と教師や子供同士が細やかなかわりの中から規範意識や躰、マナーの日常化などが培われ、学力・学習状況調査においても自尊感情や規範意識が高い結果として表れており、大きな成果を挙げています。

3 幼保・小連携推進事業

少人数学級を進める中、就学前教育の充実の必要性が強く感じられ、町内の保育所・幼稚園と小学校とのなめらかな連携を図るため、清水と御影の2ブロックにより「幼保・小連携推進事業」を進めているところです。

遊びを通して学ぶ幼児期の教育活動から教科学習が中心となる小学校以降の教育活動への円滑な移行は、小学校に上がる際のストレスをできるだけ少なくして滑らかに接続させることが大切となっており、スタートカリ



【御影ブロック5年生と年長児の交流】

キュラムとアプローチカリキュラムを作成し、実践する中から充実を図っています。

具体的には、幼児と児童との交流、教師と保育士との交流や研修、相互に保育・授業参観などを行っています。

4 小学校低学年からの英語活動

子ども達が大人になったときに、外国語（英語）で日常のコミュニケーションができるようにするために、外国語や外国人の存在を柔軟に受け入れることができる小学校低・中学年（1～4年生）の外国語活動を昨年度から実施しています。

1～2年生については、活動の柱として主に歌やゲームをおこない、英語に触れること、助手として入る外国人（英語指導助手）に親しむ活動を行っています。

3～4年生については、英語に慣れることを活動の柱に、挨拶や単語の理解などをおこない、外国語による日常のコミュニケーションを中心に行っています。



【小学校2年生の英語活動の様子】

基本的に担任が指導しますが、指導の内容をより充実させるため、補助として英語活動講師、英語指導助手が加わり活動を実施しています。

5 学校給食を通しての食育

町独自の給食献立として、①清水産の食材を中心にした十勝清水の恵み給食②全国学校給食週間の一環として、子どもたちの食への関心も高めるため

小学生が考えた献立や嗜好調査に基づくリクエスト献立を提供③小学校6年生、中学校3年生の卒業を祝うとともに、食品の栄養を理解し、バランスの取れた食事を選択する能力を身につけさせるバイキング給食などがあります。

食育としては、毎月発行の「給食だより」により、給食を通して児童生徒に正しい食事の取り方や望ましい食習慣を身に付けさせるなど、食に関する指導の充実を図っています。

また、ボランティア団体の「子どもの食育を考える研究会プアパ」との連携により、給食センターに隣接する試験ほ場で栽培した大豆を小学校児童の給食センター見学の際に収穫体験を行い、調理後に給食として提供する事業を行っています。

6 生涯学習ボランティア登録派遣事業

個人が、仕事や趣味で得た知識や技術などの学習成果を還元していただくことにより、人と人を結びつけ互いに学び合える町づくりを促進することを



ねらいとした社会教育事業ですが、各学校においては、書写の時間に、書道ボランティアが活動され、学習効果のみならず地域の人とのふれあいは、子どもたちにとって貴重な時間となっています。

また、御影小学校における日本の伝統文化を体験するための指導や、清水小学校図書館ボランティア「プレコの会」による資料整理や美化活動などが盛んに行われています。

【書写ボランティアによる活動の様子】

7 しみず「教育のデザイン」

各小中学校の経営内容をわかりやすく表現し、保護者をはじめ関係者に発信していくため毎年作成しています。

年度初めは「企画編」として教育目標ならびに経営方針を示し、それに基づく教育活動の状況を「実践編」で、そして一年間の振り返りとして児童生徒、保護者そして教師へのアンケート結果から今後の方向性を探る「診断編」となっています。

学力向上支援プラン

清水町教育委員会

● 全体的な傾向

平成27年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果、教科に関する調査の平均正答率は、小学校、中学校とも全教科において、全国平均を上回りました。特に小学校の算数A、算数B、理科、中学校の国語B、理科については、全国1位の県を上回る結果でした。

学習状況調査では、中学校においては、自尊感情、言語活動・読解力について高い傾向が見られ、学習への関心も高く生活習慣や学習習慣が定着しています。また、小学校においても、規範意識、自尊感情、言語活動・読解力、学習への関心が昨年度に比較して向上しており、清水町の子どもたちが前向きで真摯な態度で学習に取り組んでいると理解できます。

”しみず「教育の四季」”を実践指標として、学校、家庭、地域が織ぐるみで心をかよわせた感性豊かな教育に取り組んできた成果として捉えることができます。今後も粘り強く、各学校、家庭、地域において、子どもたちの学力向上のための効果的な取組を意欲的に充実していくことが大切です。

学力とは

基礎的な知識や技能を習得して、課題を解決するための思考力や判断力、表現力などの能力とともに、学ぶ意欲なども含めたものです。

今回の調査は、こうした学力のうち、教科に関する調査での設問で、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題について調査したものです。

また、教科に関する調査のほかに、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などを質問紙調査で聞きました。

主として「知識」に関する問題・・・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

主として「活用」に関する問題・・・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

平成27年度 全国学力・学習状況調査

【ねらい】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【調査方法】

○平成27年度は、対象学年の全児童生徒を対象に調査を行う。

○清水町は全小・中学校4校が実施した。

【実施日】 平成27年4月21日（火）

【学年・教科など】

○教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）、学習意欲、学習環境等に関する質問紙調査。

○小学校6年生・中学校3年生

小学校6学年 調査結果概要

教科に関する
調査の結果

全ての教科において、平均正答率が全国平均を上回りました。

◆小学校6学年調査問題の趣旨・内容

- 国語A－文中の主語を捉え、述語との照応関係を理解する、新聞のコラムを読んで文章全体の構成や引用箇所を捉えることなどから基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
- 国語B－目的や意図に応じて新聞記事の割り付けをする、登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することなどから、基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題
- 算数A－計算の結果のおよその大きさとしてふさわしい数値を選ぶ、 180° より大きい過度の大きさを求める、などから、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
- 算数B－日常の事象の解決に図形を見だし、その性質を記述する、基準量、比較量、割合の関係を基に、示された求め方の誤りを指摘することなどから、基礎的・基本的な知識・技能を活用できるかどうかをみる問題
- 理科－顕微鏡の適切な操作方法を身に付ける、氷の温まり方について、予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することなどから、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

○町内小学校6学年の学力の傾向

全教科において、全国の平均正答率を上回り、多くの児童が概ね学習内容を理解していると考えられ、全体的に基礎・基本の定着とそれらを活用することが身に付いていると言えます。

○課題と対応

今後も、家庭・学校・地域が連携して、生きる力をもった大人に育てていくため、家庭で保護者とともに読書をして、読んだ内容について、相手に伝わるように整理して話すことや、日常生活の中で、目的に応じて綴教を使って見讀もったり、比較すること、月や星の位置から感覚的に方位を捉えることなど、日常から実践していくことが重要です。

中学校3学年 調査結果概要

教科に関する
調査の結果

全ての教科において、平均正答率が全国平均を上回りました。

◆中学校3学年調査問題の趣旨・内容

- 国語A－スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する、意見文に対して出された指摘の中で適切なものを選ぶことなどから基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
- 国語B－資料を参考に2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか自分の考えを書く設問などから、基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題
- 数学A－正の数と負の数とその計算、文字式の計算、一元一次方程式などを解く。与えられた資料の中央値を求める設問などから、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
- 数学B－数量関係を表す式を用いて、放映画面の大きさの適切な変え方を指摘し、その理由を説明することなどから、基礎的・基本的な知識・技能を活用することすることができるかどうかをみる問題
- 理科－オームの法則を使って、抵抗の値を求める、上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる実験を計画する設問などから、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

○町内中学3年生の学力の傾向

全教科において、全国の平均正答率を上回り、多くの生徒が概ね学習内容を理解していると考えられ、全体的に基礎・基本の定着とそれらを活用することが身に付いていると言えます。

○課題と対応

国語Aにおける「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」設問について、全国平均を下回っており、文脈に即して語句の辞書的な意味を基に捉える指導を充実することが大切です。

また、家庭・学校・地域が連携して、生きる力をもった大人に育てていくため、毎日必ず家庭学習に取り組む習慣を付けるための時間を、家族で保障してあげることなど、家族みんなで協力し支援することが大切です。

◎小学校

国語

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかを見る指導の充実

- ・実生活において、習得した漢字を適切に使うために、日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようすることが重要です。
- ・具体的な指導として、新聞や情報誌等に、習った漢字があるかどうか探す活動を設ける指導や、書いた文章を読み返し、文章の中で果たす漢字の意味を捉えた上で、正しく使用しているかどうかを評価する活動をなどが考えられます。

●各家庭での実践

- ・保護者も家庭での読書「家読（うちどく）」を実践して、家族全体で読書に親しみ、読書習慣の定着を図りましょう。
- ・家族で同じ本を読み、その主人公や作者の思いを想像して親子で話し合うなど読書が楽しみとなる環境を作りましょう。

算数

◇長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を、言葉や数、記号を用いて記述できるかどうかをみる指導の充実

- ・示された考えをもとに、根拠となる事柄を過不足なく説明することができるようにする指導の充実が必要です。
- ・根拠となる事柄を適切に説明するには、前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり説明したりする指導の充実が必要です。
- ・「対角線の交点を通る直線で長方形の面積を2等分するという」考えを基にして、「長方形を組み合わせた図形の面積は2等分されている」という事柄が成り立つ理由を明らかにしていく指導の充実が必要です。

●各家庭での実践

- ・分数について考える家のお手伝いなど計算の伴うことを与えましょう。
- ・家庭学習の仕方について、家庭と学校の連携により、自分で課題を見付けられるよう内容の充実を図っていきましょう。

理科

◇方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できるかどうかをみる指導の充実

- ・日頃から方位を捉えながら月や星を観察することができる指導の充実が必要です。
- ・授業においては、方位磁石の使い方や教室での方位を確認し、事前に方位を意識しながら月や星の観察ができるようにする指導の充実が必要です。
- ・教室で方位磁石を使って、東西南北の方位を確認した上で、教室の壁面などに方位を掲示しながら、「窓は南、黒板は西、廊下は北」などのように日常的に方位を意識できる環境の工夫をすることが必要です。

●各家庭での実践

- ・家族で月や星の観察をしながら、方位や月の満ち欠け、星座などについて話し合しましょう。
- ・登校時に自宅を出たときの太陽の向きから、方位を捉えられるよう日常から家族で意識した会話をしましょう。

◎中学校

国語

◇語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる指導の充実

- ・場面に即した語句・語彙についての指導の充実が必要です。
- ・語句の意味について理解を深めるためには、語句の辞書的な意味を基にして、文脈に即して意味を捉えるようにする指導の充実が必要です。
- ・日常生活で使うことが少ない語句については、短文を作ったり、別の表現で言い換えたりする学習活動を行う必要があります。

●各家庭での実践

- ・幅広くいろんなジャンルの本を読む習慣を付け、家族と本に書かれていた内容について話し合うことなど、日常から実践していきましょう。
- ・学んだことを身に付けていくためには「授業に集中すること」と「家庭学習」が重要です。その日に学習した漢字や語句などを確認したり、分からないことはそのままにしないで、家族が教えるなど家庭学習がしやすい雰囲気を作りましょう。

数学

◇具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができるかどうかをみる指導の充実

- ・方程式を利用して問題解決する場面では、問題の中の数量やその関係から、2通りに表わすことができる数量を見だし、方程式をつくるようにする指導の充実が必要です。

◇与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができるかどうかをみる指導の充実

- ・グラフを用いて変域を視覚的に捉える活動を取り入れ、与えられた x の変域から対応する y の変域を求めることができるようにする指導の充実が必要です。

◇与えられた情報から必要な情報を選択し、適格に処理することができるかどうかをみる指導の充実

- ・授業においては、1回目と2回目の落し物の合計が異なることを確認し、落し物の中の文具の割合を用いることで、事象の傾向を捉えることができるようにする指導の充実が必要です。

●各家庭での実践

- ・授業で学習した内容を、復習をし確認するとともに、予習を習慣付けしていくことで授業の内容を理解することが容易になります。
- ・日常生活の中で、比例や反比例する事象を家庭で話題にし、お互いの考えを話し合うことなどを実践しましょう。

理科

◇技術の仕組みを示す場面において、コイルと磁石の相互運動で誘導電流が得られるという知識を活用して、回路のスイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができるかどうかをみる指導の充実

- ・理科で学習したことが関係する科学技術について、科学的な概念を使用して考えたり説明したりできるようにする指導の充実が必要です。
- ・「コイルと磁石の相互運動」と「無接点充電器」による電磁誘導を比較して説明する学習場面を設定し、個人で考えた後に、グループでお互いの考えを共有させる指導の充実が必要です。

●各家庭での実践

- ・日常生活の中で、非接触ICカードや無接点充電など科学技術について、家族で関心を持ち、お互いの考えを話し合うなど実践しましょう。

質問紙調査の結果

小学生は、学習習慣、言語活動・読解力、自尊感情、規範意識、各教科への関心等が全国基準を上回っている。生活習慣は全国基準と同程度の状況です。
中学生は、学習習慣、生活習慣、言語活動・読解力、自尊感情、各教科への関心等が上回っている。規範意識は全国基準と同程度の状況です。

◇質問紙調査の趣旨・内容

学力の状況のみならず、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査を実施し、学力とその相関関係等を分析します。学力との相関については、①学習に対する関心・意欲・態度②学習状況③学習習慣④学校生活等⑤基本的な生活習慣・自尊意識・規範意識などの項目について調査が行われました。

町内の児童生徒の学習習慣や生活習慣等の傾向

小学校6学年児童については、全国基準と比べて、自分の考えや意見を発表することや友達の話や意見を最後まで聞くことが高い傾向にあり、特に地域行事への参加、学校のきまりを守ることが特に高い状況でした。学習塾に通っていない割合が高いですが、家庭での学習量については全国に比べ若干高い状況です。

中学校3学年生徒については、全国基準と比べて、自ら計画を立てて勉強すること、地域行事への参加や社会や地域に対する関心などについて高い傾向にありました。読書量については、やや上回っている状況でしたが、家庭学習の時間は少ない傾向にあります。学習に対する関心については、各教科ともに関心等は高く、特に理科は計画的な学習や考察、振り返りができているという状況でした。

改善の方向性

○「習得」「活用」「探求」の学習プロセスを重視し、確かな学力を確立するための学習活動を充実しましょう。

◇知識・技能の確実な定着を図る指導の工夫改善に努めましょう。

□基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるため、体験的な理解を重視した学習活動や、授業の最後に「まとめ」「振り返り」をしっかりとする学習指導の工夫改善を図る。

□一人一人の習熟度等に応じたきめ細かな指導を一層充実する。

◇思考力、判断力、表現力等を高める指導を充実し、実際に課題を探求する活動の実践に努めましょう。

□観察・実験、レポートの作成、論述などの学習活動を発達段階に応じて充実し、教科等において記録、要約、説明などの学習に取り組む。

□総合的な学習の時間における教科等を横断した探求活動を充実する。

○「教えて考えさせる授業」の展開など学習意欲の向上につながる指導の工夫改善に努めましょう。

□児童生徒の学習意欲を高める「分かる授業」の実践研究を推進し、児童生徒の自立性を促すことができるよう教師の授業力を高める。

□地域の人材の活用も含め、多用な指導者によるチーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた指導等の充実を図る。

○家庭・学校・地域が相互に連携し、学習習慣や基本的な生活習慣の育成を図るための活動を充実しましょう。

□自宅での勉強の前に1～2分でできる簡単なプリントを繰り返し行うなど、学習への意欲と集中力を育てる工夫をする。

□勉強する時間を決めて表示するなど、子ども自身が時間を意識した生活習慣の改善を図り、生活リズムの中に家庭学習時間を確保する。

○読書に対する意欲を高め、読書活動を活発にする取組の一層の充実を図りましょう。

□全校一斉の読書活動を推進し、学校図書館の活用を図る。

□毎月19日の「しみず読書の日」を意識して、読書の習慣化を図る。

◎26年度の教研式標準学力検査CRTによる子どもの学力（小3・小5・中2）の結果から十勝の子どもたちには次の傾向が見られました。

・小学校3学年は全教科、5学年では国語以外で全国を下回りました。

・中学校2学年では、理科が全国を上回りましたが他教科は下回っています。

◎本町の子どもたちについては、次の傾向が見られました。

・小学校3学年では、全教科で全国を下回りました。

・小学校5年生では、社会科が同レベルで他の教科は全国を上回りました。

・中学校2学年では、理科が全国を上回りましたが他の教科は下回りました。

教育研究所との連携

清水町教育研究所では、こうした調査の結果を受けて、十勝教育研究所と連携し、教育課程や授業の工夫改善、家庭学習の推進に取り組んでいきます。各学校においては、研究所の研究成果を参考にするとともに、各学校において常日頃より実践研究に取り組んでいただくなど、連携を図りながら、町内の児童生徒の確かな学力の育成に努めていきます。

平成27年度

清水小学校の教育

教育目標

心身ともに健康で 未来に生きる高い知性と 豊かな心情と強い意志を培い 主体的に行動できる子どもを育てる

〇進んで学ぶ子ども 〇思いやをもつ子ども 〇働きまわってやりぬく子ども 〇体をきたえる子ども 〇みんなと力を合わせる子ども

豊かな教育環境のもと、子ども一人一人が笑顔で生き生きと活動し、輝き続ける教育を推進します

家庭・保護者

安らぎの場：信頼・協働

学校・教職員

学びの場：自立・協調

地域・住民

育ちの場：つながり・支援

笑顔輝く 日本一の学校

笑顔で登校

笑顔で下校

しっかり学ぶ【聡明】<知>

- 〇基礎基本の確実な定着（習得・活用・探究）～個に応じた指導、繰り返し指導・発展的指導、体験的・問題解決的学習、放課後・長期休業の指導、言語活動
- 〇家庭学習や読書の習慣化～清水小スタンダード（学習常規、学びのルール、立腰等）、朝読・家読、読書の木
- 〇地域の特性を生かした教育の充実～教材化地域の教育資源の活用、総合学習
- 〇PDCAサイクルの徹底～学力テスト、CRT、チャレンジテストの分析・改善方策
- 〇学校公開～授業研、参観日、学校行事等

みんな笑顔【明德】<徳>

- 〇明るく、元気な挨拶・返事～規範意識や倫理観、正しい言葉遣い、豊かな表情、美しいしぐさ
- 〇道徳教育の推進～児童理解交流、道徳の授業（参観日）、アンケート、命の授業、奉仕・体験活動（ボランティア、直接体験）
- 〇安全指導の徹底～自分の命は自分で守る（安全教室等）、いじめ防止（QU、カウンセリング）

しみず
「教育の四季」
= 家庭・地域
との連携

すこやかな体【活力】<体>

- 〇基本的な生活習慣の定着～早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き
- 〇身の回りの整理・整頓、掃除力の育成～後片づけ・掃除、自主自立、心技体を磨く
- 〇食育の充実～しっかり食事、感謝の心、
- 〇健康・体力づくり～遊びや運動・スポーツ（サークル、対人）、体力テスト

「環境こそ指導力である」（豊かな環境）

- 〇ひと（教師、保護者、ボランティア）
- 〇もの（地域素材・環境、教材、施設・設備等）
- 〇財源（運営費、設備費、教材費等）
- 〇情報（教育・地域社会・危機管理等）
- 〇つながり（関係機関・団体、人材、協働体制）

清水小学校の教育

笑顔輝く 日本一の学校

笑顔で登校 笑顔で下校

① しっかり学ぶ [聡明] <知>



理科実験の授業



楽しく外国語活動



丁寧な習字の指導



総合：農園活動



コツコツ朝学習



授業に集中

② みんな笑顔 [明德] <徳>



児童会の挨拶運動



参観日：道徳の授業



全校ゴミ拾い登校



社会科見学

しみず
「教育の四季」
= 家庭・地域
との連携



農業体験で枝豆収穫



「環境こそ指導力である」豊かな環境

- ひと（教師、保護者、ボランティア）
- もの（地域素材・環境、教材、施設・設備等）
- 財源（運営費、設備費、教材費等）
- 情報（教育・地域社会・危機管理等）
- つながり（関係機関・団体、人材、協働体制）

深まる
紅葉清
水小の
風景



③ こやかな体 [活力] <体>



清掃活動



元気に外遊び



食育：大豆料理





学校教育目標

みんなで学び かたをくみあう げんきな子

心豊かでやさしさのある子
広く見る目・やさしさ・思いやり



よく考えて表現できる子
課題をもち・考え合い・伝え合い



自らやりぬくたくましい子
自然や命・やる気・チャレンジ

ともに学び合い、自分から「あいさつ」「あとかたづけ」「ありがとう」

今年度の重点

子どもの力をのばす7つの取組の一層の具現化

【基本的な生活習慣】

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化
- ・あいさつ・あとかたづけ・ありがとう（家庭、地域、学校、お客さんに）
- ・「時間を守る」「時間の使い方を工夫する」子どもに
- ・寺子屋塾の活用

【学習規律の確立】

- ・「チャイム、着席、準備」の徹底
- ・机上（教科書は左、ノートは右、筆記用具は必要なものだけを用意など）
- ・話し方、聞き方、学び方の定着
- ・集中力育成→→むだ話を無くす
- ・「けじめ」ある学習態度の育成
- ・忘れ物をなくす工夫

【環境の工夫】

- ・学習のきまりや約束事の教室掲示
- ・子どもへの定着を促す学習内容のまとめの掲示
- ・子どもの活動の姿が見える掲示や展示の工夫・掲示物の定期的な交換
- ・地域の教育素材の発掘と有効活用
- ・異校種間連携

【学びの力を育てる授業づくり】

- ・事前準備と発問の吟味（教師の発言量と児童の発言量のバランス）
- ・実物投影機やパソコン等の教育機器の活用・授業形態の工夫（個、ペア、グループ、一斉の使い分け）
- ・「ノート使用のきまり」の活用（分かりやすい板書構造、子ども自身の考えや感想が書き込まれるノートへ）
- ・子どものニーズに応じた指導の充実（特別支援教育の充実、ITの活用等）
- ☆ 導入時
 - ・子どもの興味・関心を引き出す工夫
 - ・何をどのように学ぶかの見通しを持たせる
- ☆ まとめ時
 - ・学習の振り返りの時間の設定
 - ・授業の最後のミニまとめや「ラストチャレンジ」で定着度チェック

【自主的・主体的な学び】

- ・朝の自習（ドリル、チャレンジテスト、読書など→→静かに、集中して）
- ・読書の取組と保護者への呼びかけ、みかけ読書週間：毎月19日を含む週）
- ・バス通生の放課後などの学習
- ・学習習慣の確立（宿題・家庭学習）（学年×10分+10分程度の学習時間）

【心を育てる教育活動】

- ・「道徳」の時間の充実（「わたしたちの道徳」の活用など）
- ・「子どものいいところ」を探し、認め、励まし、自信をもたせる指導を
- ・校内生活のきまりを守る子どもに（問題行動への迅速な対応）
- ・「いじめ」を許さない子どもに
- ・心に響く教育活動の場の設定（全校合唱・石の子フェスティバル等）

【たくましい体を育てる教育活動】

- ・体を動かす場の広がり（児童会の全校遊び、各学級の取組）
- ・体育の時間の工夫（運動への苦手意識をもっている子への配慮、新体カテストの活用）
- ・安全・安心の取組（交通安全指導の徹底、避難訓練、不審者対策等）

しみず「教育の四季」御小版

年間努力目標

「早寝 早起き 朝ご飯」で
規則正しい生活を送りましょう

～季節を感じながら、「3つのあ」の運動の日常化へ～

- 春～新たな出会い、ふれあい あいさつ
- 夏～自然や人の豊かさに感謝 あとかたづけ
- 秋～実り・成長を感じて ありがとう
- 冬～寒さに負けない心と体(3つの「あ」の定着へ)

子どもたちが描く理想の学校像

「思いやりをもって仲よく過ごせる・しっかりと学ぶことができる・安全に気をつけて生活できる」学校



学校教育目標

みんなで学び かたをくみあう げんきな子

心豊かでやさしさのある子
広く見る目・やさしさ・思いやり

ともに

よく考えて表現できる子
課題もち・考え合い・伝え合い

自分から

自らやりぬたくましい子
自然や命・やる気・チャレンジ

ともに学び合い、自分から「あいさつ」「あとかたづけ」「ありがとう」

今年度の重点

子どもの力をのばす7つの取組の一層の具現化

【基本的な生活習慣】



PTA研修会
ネットトラブル
の未然防止

学校長よ
る寺子屋



【学習規律の確立】



すてきノート紹介



【環境の工夫】



【学びの力を育てる授業づくり】【自主的・主体的な学び】



発表の工夫



外国語活動



板書の工夫



自主研修で満足 修学旅行



学びの場の工夫(個別・グループ)



酪農体験



バイオリン体験



そば学習



清水探検(社会)

【心を育てる教育活動】



一年生を迎える会



意見発表会



名演技学習発表会

命を育てる触れる学習

【たくましい体を育てる教育活動】



堂々と応援合戦



びよんびよんワールド



全校合唱



盲導犬体験



御影茅室ゴミ拾い遠足



プール祭り

子どもたちが描く理想の学校 「思いやりをもって仲よく過ごせる・しっかりと学ぶことができる・安全に気をつけて生活できる」

清水中学校の教育 <2015企画編>



表情豊かな生徒をはぐくむ学校の創造



「六章の教え」を
教育活動に明確に位置付け
行動規範として、
具体的取組の設定と評価の視点に

清水町立清水中学校
SHIMIZU JUNIOR HIGH SCHOOL

探究・自学・明朗・協力・健康・努力



実践指標

しみず「教育の四季」との関連

総合的な学習の時間「清水のために」など
地域と共に生徒を育てる

豊かな学力

家庭学習ノート
指導方法の工夫
学習意欲の向上

基礎基本の確実な定着

全校で支える
柔軟な指導体制

特別支援教育の充実

読書で広げ、磨かれる豊かな学力

朝読書
移動図書館の活用

校舎内外の読書環境
読書推進

美しい豊かな学校環境

小・中・高の細やかな連携

各種通信
ホームページ
公式ブログ

多様で充実した情報発信

教師こそが最大の学習環境

豊かな環境

豊かな心身

いじめの未然防止
心の教育
道徳の工夫

いじめのない楽しい学校づくり

中学生らしい元気な挨拶や行動

生徒会活動

丁寧な清掃活動

師弟同汗

伝統の継承と充実・発展

体育祭
文化祭
部活動等

自らの身を守る健康・安全教育の充実

健康
交通安全
防災教育

家庭学習文化
に学校が力を入れる
読書と運動

専門員としての研修
豊かな人間性
共働性

その他には・・・

- 教職員の健康管理と服務規律の保持
- 学習指導要領を踏まえた創意に満ちた教育活動
- 進路指導業務の確実な推進
- 生徒理解と問題行動等への対応
- 変化の激しい社会への対応
- 平成29年度進路研を見据えた研修
- ユニバーサルデザイン授業研究成果の継承



清水中学校の教育

<2015実践編>



表情豊かな生徒をはぐくむ学校の創造



豊かな学力



↑ 朝読書や朝学習で、
落ち着いた一日の始まり



← 十勝意見発表大会
優良賞

学び合い、支え合う学習で
↓ 基礎基本の定着



↑ 少年の主張
十勝地区大会
優秀賞



← 十勝英語暗唱大会
優秀賞

書写ボランティアは
地域教育力の活用！



↑ 第一保育所を訪ねて
家庭科「保育」の体験学習



↑ 吹奏楽部定期演奏会は
町の文化センター大ホールを
お借りして

豊かな環境



↑ 伝統の組体操は
安全に配慮して継続
← 陸上部は学校対抗大会
5年ぶりの男子総合優勝。
2年三好は100mHで
Jr オリンピック全国大会
に出場



↑ すばらしい
環境の中での
体力づくり
学級対抗駅伝



↑ 地域の方と
一緒に花壇整備

大規模改修で
美しく・温かく
生まれ変わった
校舎 ↓



↑ 十勝子ども大会では2・3年生が伝統の「第九」など3曲を披露



清水町立清水中学校
SHIMIZU JUNIOR HIGH SCHOOL



探究・自学・明朗・協力・健康・努力

日々の教育活動の様子は清水中学校の公式
ブログで毎日紹介しています。PC、スマホ等
から、ぜひご覧ください。

<http://shimizujhs.blogspot.jp/>

御影中学校 教育の四季

企画編

平成27年度

☆御影中学校

「教育の四季」

☆教育目標

- 自主自律の人
- 創意実践の人
- 明朗誠実の人

☆学校経営の目標

◎生徒にとつて、通いがいいのある学校

◎教師にとつて、働きがいのある学校

◎保護者にとつて、通わせがいのある学校

☆本年度の重点

1 育てたい生徒の姿
・自分の良さに気づき、自信をもって行動できる生徒
合言葉：ナイストライ

・進んで家庭学習に取り組む生徒
合言葉：めざせ、家庭学習毎日90分
2 個に応じた学習指導

・習熟度の程度に応じた指導・TT
・家庭学習の習慣形成
・生徒の「分らない」を解決
・困り感をもった生徒への指導

3 漢字を正しく書き使う指導

春

明日への目標に
心願させる春

夏

活力に満ち
希望実行する夏

秋

盛り合い 学び合い
磨き合う秋

冬

今と将来を見つめ
完全燃焼する冬

生きた想いをもち感性
豊かな子どもを育て
参ります

一人一人の生徒を大切にす教育

保護者・地域に愛される ONLY ONE の学校をめざして

個性が輝く教育

【めざす生徒像】

- ★適切な判断をし、行動に責任をもつ生徒
- ★個性やよさを発揮し、やりぬく生徒
- ★誰に対しても真心をもって接する生徒

《具体的な手立て》

- 互いの良いところを見つけ、認め合う場面の設定・学級での日常的な取組
- 自分の良さ、得意なところに目を向けさせる指導
- 「良いところ声運動」を保護者にPR
- 生命や心を大切にしている生徒を育てる道徳教育
- 生徒に目標をもたせ、「本気の努力」を促す指導
- 特別支援教育に関わる校内指導体制の充実
- 豊かな心を育むボランティア活動
- 居心地の良い学校づくり
- ・生徒会活動との連携
- 旭山学園との交流

確かな学力の向上

【めざす授業像】

- ★自分なりの思いや考えを表現し、他の人へ伝えることができる
- ★生徒が友達と協力しながら活動し、活動を振り返りながら友達の良いさを認めることができる授業
- ★生徒が課題を見つけ、自ら進んで活動し、課題の追求ができる授業

《具体的な手立て》

- 基礎・基本の確実な指導
- 家庭学習習慣化の取組
- ・学習の質を高める指導
- 効果的な宿題の工夫
- 外部講師を活用した自発的な学習態度の育成
- 各種調査結果を踏まえた学力向上プランの作成・推進
- 開かれた授業や校内研究
- 学習内容と目標(シラバス)による主体的な学習
- 読解力をつける朝読書
- 生徒による授業評価

信頼される学校

【めざす学校像】

- ★「御影中学校が大好き」「御影中学校の生徒であることが自慢」と生徒が言える学校
- ★前年度調査から脱却し、常に改善を図る学校
- ★積極的な情報公開で、説明責任を果たす学校

《具体的な手立て》

- 学校便りやHPによる教育活動の情報発信
- 生徒・保護者・地域の方への迅速・適切・誠実な対応
- 保護者・生徒への学校診断アンケートによる学校評価と学校改善
- 学校支援委員会を活用した学校改善
- 地域公開授業・参観週間、懇談会、家庭訪問、日常的な情報提供
- 地域の教育力の活用
- ・御中ギヤラリー
- 学校支援ボランティア
- 御影芸術文化祭参加

魅力ある教師

【めざす教師像】

- ★生徒の未知なる可能性を最大限に引き出し、伸ばせる教師
- ★すべては生徒のために努力を惜しまない教師
- ★常に自己修養・研鑽に励む教師

《具体的像》

- 「ほめる・認める・励ます」を徹底し、生徒の自己肯定感を高める教師
- 生徒の良さを正しく伝え、伸ばせる教師
- 生徒の話をしっかりと、じっくり聴ける教師
- 「わからない」「できない」「困った」「悩みがある」という生徒の声や心のサインを真剣に受け止め、大切にする教師
- 教育公務員として個性や能力・特性・専門性を生かし、職務を遂行する教師
- 地域社会から信頼される教師

には、各教職員及び各校務分掌等毎に追加記述する。

☆教育目標 ○自主自律の人 ○創意実践の人 ○明朗誠実の人

一人一人の生徒を大切に
保護者・地域に愛される ONLY ONE の学校をめざして

生徒の個性が輝く教育



良いところを見つけよう～ブックトーク



豊かな心を育む地域清掃ボランティア



職場体験学習

- 自分の良さ気づき、自信をもって行動できる生徒 合言葉：ナイストライ
- 互いの良いところを見つけ認め合う
- 居心地の良い学校づくりをめざす生徒会活動
- 心身を鍛える部活動

確かな学力を高める授業



「めざせ、家庭学習毎日90分」



「出前授業」～学ぶ意欲を高める



分かりやすい授業

- 自発的な学習態度の育成
- 家庭学習習慣化の取組
「家庭学習毎日90分」
- 習熟度別指導、TTによる個に応じた指導
- 学力向上プランの実践・検証・改善

信頼される学校



地域の芸術を学校に「御中ギャラリー」



地域の教育力「書写ボランティア」



御影地区の行事に参加

- 生徒・保護者・地域への迅速・適切・誠実な対応
- 学校診断アンケートによる学校評価と学校改善
- 学校支援委員会を活用した学校改善
- 学校便り・HPによるきめ細かな情報発信
- 地域の教育力の活用

「ほめる・認める・励ます」を徹底し、生徒の自己肯定感を高める指導に努める。

魅力ある教師

生徒一人一人を大切に、良さや可能性を引き出す指導に努める。

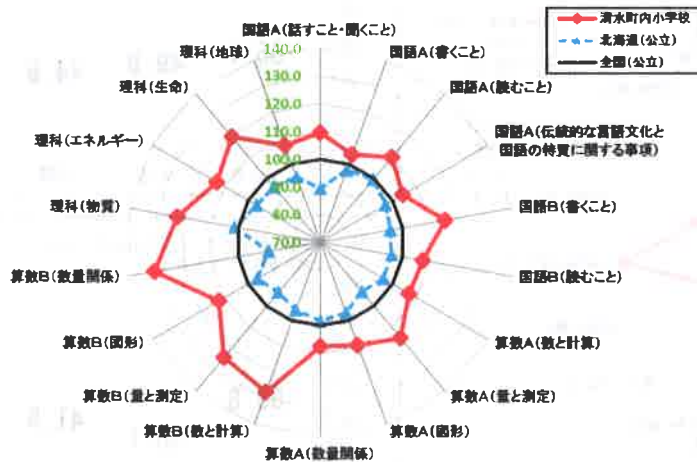


すべては生徒のために

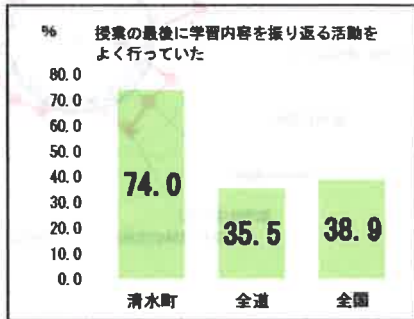
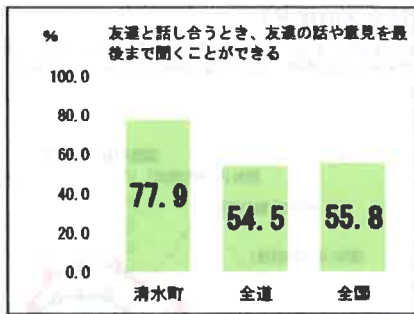
【清水町内の平均正答率】

【教科全体の状況】

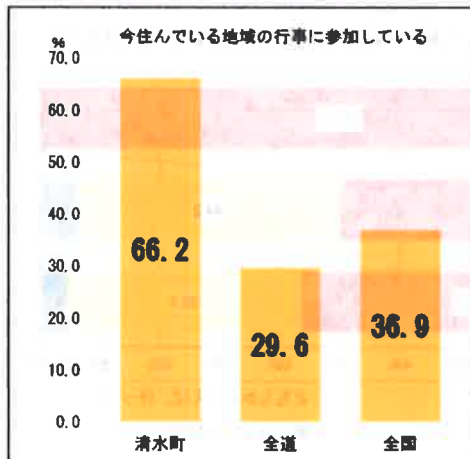
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



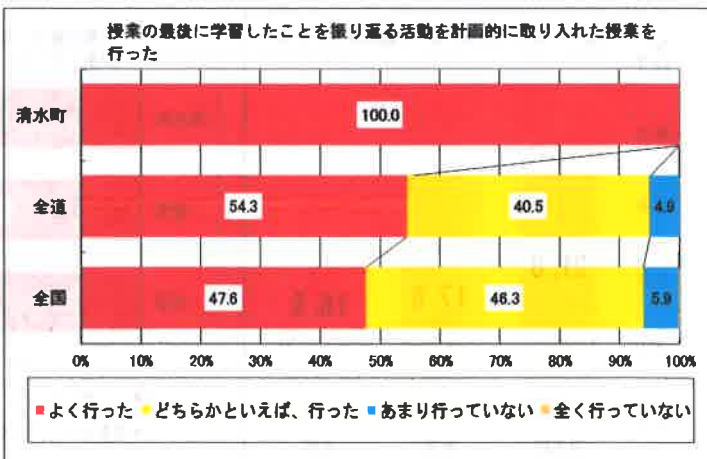
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、算数、理科、全ての教科・領域において、全国平均を上回っている。	○ 各学校で、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることについて、全校的な取組を進めた結果、授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行ったと回答する児童の割合が高く、全体的に基礎・基本の定着とそれらを活用する力が付いていると考えられる。
児童質問紙	○ 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行ったと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることを「よく行った」と回答している。	

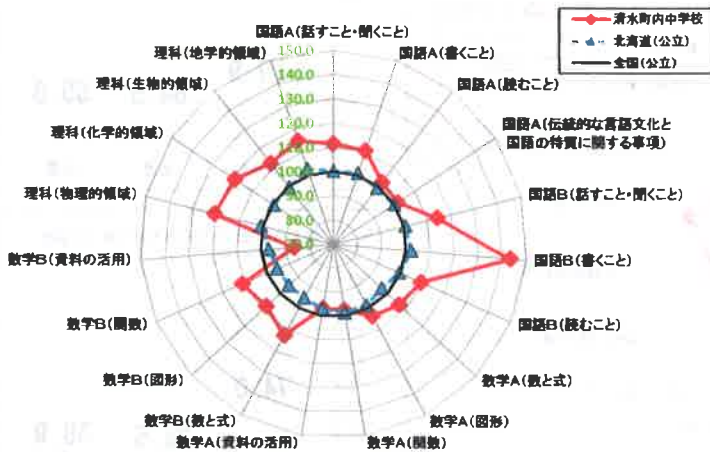
【清水町の学力向上策】

- ◎ 教育理念「心響」に基づき、心をかよわせた、互いに響き合う感性豊かな教育を推進
- ◎ 家庭・学校・地域が連携し、四季を通じて各々が実践することを掲げ取り組む「しみず「教育の四季」」の推進
- ◎ 「習得」「活用」「探求」の学習プロセスを重視し、確かな学力を確立するための学習活動を充実
- ◎ 「教えて考えさせる授業」の展開など学習意欲の向上につながる指導の工夫改善
- ◎ 家庭・学校・地域が相互に連携し、学習習慣や基本的な生活習慣の育成を図るための活動を充実
- ◎ 読書に対する意欲を高め、読書活動を活発にする取組
- ◎ 教育課程の連続性を踏まえた小中連携の取組

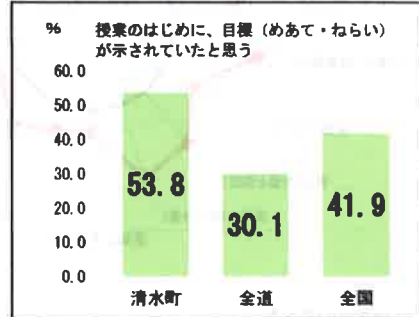
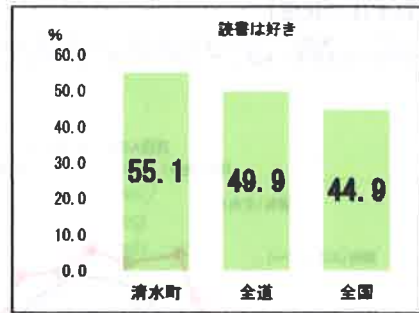
【清水町内の平均正答率】

【教科全体の状況】

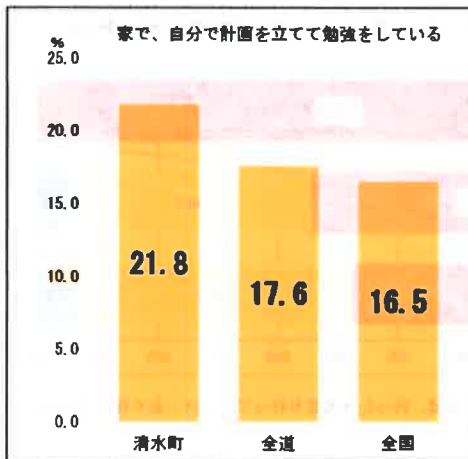
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



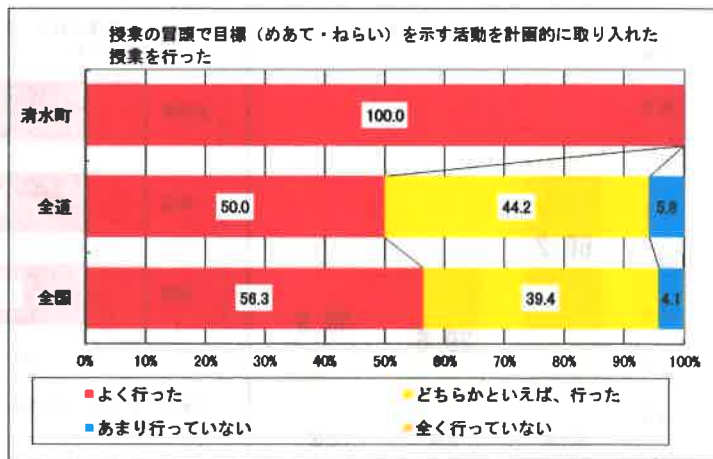
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語と理科は、全ての領域で全国平均を上回り、数学Aでは「数と式」「図形」、数学Bでは「数と式」「図形」「関数」において、全国平均を上回っている。	○ 各学校で、授業の冒頭に目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れることについて、全校的な取組を進めた結果、授業で目標(めあて・ねらい)を示されていたと回答する生徒が増えた。また、家で、自分で計画を立てて勉強する生徒や、読書が好きと回答する生徒が多く、特に、国語の力が付いてきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 読書は好きと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家で、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れることを「よく行った」と回答している。	

【清水町の学力向上策】

- ◎ 教育理念「心響」に基づき、心をかよわせた、互いに響き合う感性豊かな教育を推進
- ◎ 家庭・学校・地域が連携し、四季を通じて各々が実践することを掲げ取り組む「しみず「教育の四季」」の推進
- ◎ 「習得」「活用」「探求」の学習プロセスを重視し、確かな学力を確立するための学習活動を充実
- ◎ 「教えて考えさせる授業」の展開など学習意欲の向上につながる指導の工夫改善
- ◎ 家庭・学校・地域が相互に連携し、学習習慣や基本的な生活習慣の育成を図るための活動を充実
- ◎ 読書に対する意欲を高め、読書活動を活発にする取組
- ◎ 教育課程の連続性を踏まえた小中連携の取組
- ◎ 学びの質を高める中高連携の取組